

ロングセラー成功の謎

班員 飯干健太 坂元梨子
宇都宮伸太 甲斐啓太 長友玲々

指導者 宮崎修子先生
アドバイザー 九鬼勉様

研究動機と目的

流行が頻繁に入れ替わる現代の世の中で、ロングセラー商品として今もなお人気なお菓子の共通点を探し、延岡市の商品に活用して地元を活性化に貢献するため。

先行研究

文教大学 情報学部 経営情報学科 矢作裕一氏の研究によると、食品製造業でのショートセラーとロングセラーの違いについては示されていたが、どのような商品がロングセラーになるのかは明らかにされていなかった。

研究方法

- (1)「どんなお菓子がロングセラーだと思うのか」のアンケートを延岡高校の生徒、職員を対象に実施。
質問内容:10年前から販売されているお菓子の中でロングセラー商品と思う商品は?
- (2)(1)の結果をもとにロングセラー商品の傾向を分析。
- (3)どんな商品がロングセラーになるかの仮説(考察1)を立てる。
- (4)考察1と宮崎県産のお菓子を比較する。
- (5)宮崎県産のお菓子の中でロングセラーではない商品には何が足りないのかを考察する。(考察2)
- (6)これらを踏まえて結論を出す。

仮説1

味の種類が多くて、安い商品がロングセラーになりやすいのではないかと。

結果1

2023年8月頃に実施
716人中117人の回答(15%)

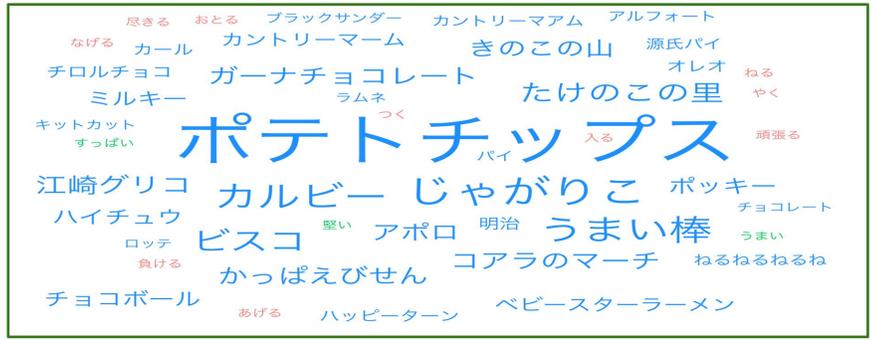


図1 回答者が思うロングセラーのお菓子

表1 商品名の頻出度

商品名	スコア	出現頻度
ポテトチップス	245.29	56
じゃがりこ	123.42	47
ポッキー	45.93	30
うまい棒	107.42	29
たけのこの里	73.70	29
カルビー	105.84	26
きのこの山	52.27	22
ビスコ	85.36	20
コアラのマーチ	58.28	20
アポロ	53.48	16
かっぱえびせん	54.79	13
ハイチュウ	41.78	12
明治	23.95	12
チョコレート	22.86	12
チョコボール	41.14	11

考察1

味の種類が多く、100円～300円の商品がロングセラー商品になりやすい。

仮説2

私たちがたてた仮説に宮崎のお土産のなかのヒット商品は当てはまっているのではないかと。

結果2

表2 仮説2の分析結果

商品名	値段が100円～300円	味の種類(2種類以上)
桃羊羹	× 550g・540円	×
宮崎マンゴーラングドシャ	× 10枚・939円	×
青島せんべい	× 2枚×3袋・324円	○ 3(種類)
チーズ饅頭(風月堂)	× 4個713円	○ 4
宮崎南国プリン	○ 6個2,770～3130円	○ 6
青島いろいろ	○ 10切れ380g・530円	○ 3
なんじゃこりゃ大福	× 1個1180円	△
ゴボチ	○ 40g280円	○ 7

考察2

味の種類は仮説と一致する商品が多いが、値段は考察と一致しないことが多く、自分たちの仮説と一致しないことが分かった。ロングセラー化には他の要因も関係していると考えられる。

今後の展望

- ・宣伝している有名人、コラボ相手、広告なども、商品のロングセラー化に関係していると考え、どのような関係があるのかも研究したい。
- ・宮崎県や延岡市の特産品でこれらに当てはまらなくてもロングセラー商品になっているのにはどんな理由があるのかも研究したい。

参考文献

<https://www.morinaga.co.jp/> 森永公式
<https://www.calbee.co.jp/potatochips/> カルビー公式
<https://www.oreocookie.jp/> オレオ公式
<https://www.lotte.co.jp/> ロッテ公式
<https://www.fujiya-peko.co.jp/> 不二家公式
<https://genjipie.jp/> 源氏パイ公式
 閲覧日: いずれも9月13日

